

**会員事業所景況実態調査平成29年10月～12月分集計結果**  
**調査依頼数:529 回答数96 回答割合:18.1%**

平成29年度3回目分の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。  
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。  
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

**★DI値とは**

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から  
 減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。  
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で  
 景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

**【質問 A】 前年同時期と比較した10月～12月の景況**

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	29	39	27	95	2.1	2.4
	採算	19	52	24	95	▲ 5.3	▲ 12.9
	仕入単価	1	55	36	92	▲ 38.0	▲ 36.6
	従業員	26	66	2	94	25.5	20.0
	業況	17	58	20	95	▲ 3.2	▲ 7.1
	資金繰り	14	67	13	94	1.1	▲ 7.1
建設・建築業	売上	5	7	2	14	21.4	▲ 6.7
	採算	3	7	4	14	▲ 7.1	▲ 33.3
	仕入単価	0	10	4	14	▲ 28.6	▲ 20.0
	従業員	8	6	0	14	57.1	33.3
	業況	4	8	2	14	14.3	▲ 20.0
	資金繰り	2	10	2	14	0.0	▲ 20.0
製造業	売上	12	6	6	24	25.0	13.0
	採算	8	11	5	24	12.5	13.0
	仕入単価	0	8	15	23	▲ 65.2	▲ 42.9
	従業員	6	17	1	24	20.8	17.4
	業況	10	12	2	24	33.3	13.0
	資金繰り	5	17	2	24	12.5	▲ 13.0
卸・小売業	売上	3	8	7	18	▲ 22.2	0.0
	採算	3	9	6	18	▲ 16.7	▲ 8.7
	仕入単価	1	12	5	18	▲ 22.2	▲ 43.5
	従業員	3	13	1	17	11.8	4.3
	業況	1	11	6	18	▲ 27.8	▲ 8.7
	資金繰り	2	11	4	17	▲ 11.8	▲ 4.3
飲食・サービス業	売上	7	11	7	25	0.0	0.0
	採算	4	16	5	25	▲ 4.0	▲ 22.2
	仕入単価	0	15	10	25	▲ 40.0	▲ 29.4
	従業員	7	18	0	25	28.0	22.2
	業況	1	18	6	25	▲ 20.0	▲ 17.6
	資金繰り	4	17	4	25	0.0	11.1
その他	売上	2	7	5	14	▲ 21.4	0.0
	採算	1	9	4	14	▲ 21.4	▲ 50.0
	仕入単価	0	10	2	12	▲ 16.7	▲ 50.0
	従業員	2	12	0	14	14.3	50.0
	業況	1	9	4	14	▲ 21.4	▲ 14.3
	資金繰り	1	12	1	14	0.0	▲ 16.7

**(全体)**

前回に比べると全体的に少しずつ改善されてきている。  
 仕入単価の上昇や従業員の不足は前回よりも悪化している。

**(建設・建築業)**

前回に比べると、売上、業況については25ポイント以上の増加、好転となり改善されてきている。  
 しかし、前回よりも従業員が約25ポイント不足となっている。

**(製造業)**

前回に比べると全体的に増加、好転がみられる。  
 しかし、前回よりも仕入単価が約20ポイント上昇となっている。

**(卸・小売業)**

前回に比べると、悪化傾向である。特に売上、業況は20ポイント近く落ち込んでいる。  
 仕入単価は20ポイント以上下落している。

**(飲食・サービス業)**

前回より、採算は好転しているものの、業況、資金繰りは悪化している。  
 仕入単価の上昇や従業員の不足は前回よりも悪化している。

**(その他)**

前回より、採算、資金繰りは好転しているが売上、業況は悪化している。  
 従業員、仕入単価については前回よりも改善されてきている。

【質問 A】 12月と比較した1月～3月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	23	43	29	95	▲ 6.3	▲ 13.1
	採算	10	61	24	95	▲ 14.7	▲ 22.6
	仕入単価	1	55	36	92	▲ 38.0	▲ 30.9
	従業員	28	63	3	94	26.6	25.0
	業況	11	65	19	95	▲ 8.4	▲ 13.3
	資金繰り	10	68	16	94	▲ 6.4	▲ 11.9
建設・建築業	売上	3	5	6	14	▲ 21.4	0.0
	採算	1	7	6	14	▲ 35.7	▲ 20.0
	仕入単価	0	10	4	14	▲ 28.6	▲ 13.3
	従業員	8	6	0	14	57.1	40.0
	業況	1	10	3	14	▲ 14.3	▲ 6.7
	資金繰り	1	10	3	14	▲ 14.3	▲ 20.0
製造業	売上	10	6	8	24	8.3	▲ 13.0
	採算	5	14	5	24	0.0	▲ 26.1
	仕入単価	0	6	17	23	▲ 73.9	▲ 42.9
	従業員	5	18	1	24	16.7	21.7
	業況	7	14	3	24	16.7	▲ 21.7
	資金繰り	4	16	4	24	0.0	▲ 17.4
卸・小売業	売上	4	10	4	18	0.0	▲ 22.7
	採算	2	12	4	18	▲ 11.1	▲ 27.3
	仕入単価	1	12	5	18	▲ 22.2	▲ 31.8
	従業員	3	12	2	17	5.9	9.1
	業況	1	12	5	18	▲ 22.2	0.0
	資金繰り	1	12	4	17	▲ 17.6	▲ 9.1
飲食・サービス業	売上	3	15	7	25	▲ 16.0	▲ 16.7
	採算	0	19	6	25	▲ 24.0	▲ 5.6
	仕入単価	0	17	8	25	▲ 32.0	▲ 23.5
	従業員	9	16	0	25	36.0	33.3
	業況	1	18	6	25	▲ 20.0	▲ 11.8
	資金繰り	4	18	3	25	4.0	0.0
その他	売上	3	7	4	14	▲ 7.1	0.0
	採算	2	9	3	14	▲ 7.1	▲ 50.0
	仕入単価	0	10	2	12	▲ 16.7	▲ 50.0
	従業員	3	11	0	14	21.4	33.3
	業況	1	11	2	14	▲ 7.1	▲ 50.0
	資金繰り	0	12	2	14	▲ 14.3	▲ 16.7

(全体)

前回より、全体的に改善する見通しである。  
仕入単価の上昇、従業員の不足は共に改善されない見通しである。

(建設・建築業)

前回より、資金繰りは好転するものの、全体的に悪化する見通しである  
従業員は現在以上に不足する見通しである。

(製造業)

前回より、全体的に20ポイント前後の改善がされる見通しである。  
従業員不足は多少改善されるものの、仕入単価が更に上昇する見通しである。

(卸・小売業)

前回より、売上は約20ポイント、採算は約15ポイント増加する見通しである。  
仕入単価、従業員についても改善される見通しである。

(飲食・サービス業)

前回より、売上、資金繰りが好転するものの、他は悪化する見通しである。

(その他)

前回より、売上が減少するものの、全体的に改善される見通しである。  
特に、採算、業況は40ポイント以上の好転となる見通しである。

【質問 B】 新卒採用について

①新卒採用(平成30年4月入社)の実施状況について

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1. 新卒採用を実施した	4	9	2	5	3	23
2. 新卒採用を実施しなかった	3	7	2	5	1	18
3. そもそも新卒採用を実施していない	6	8	14	15	10	53
合計	13	24	18	25	14	94

②採用計画に対する新卒採用の充足状況について ※①の質問で1と回答された方

	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
1. 計画した通りに採用できた(計画以上の採用も含む)	0	5	0	3	0	8
2. 採用できたが、計画した人数には満たなかった(採用活動継続中も含む)	1	3	1	2	3	10
3. 募集をしたが、採用できなかった(採用活動継続中も含む)	3	1	1	0	0	5

【質問 C】 現在、経営上で直面している問題点(複数回答可能)

項目	建設・建築業	製造業	卸小売業	飲食・サービス業	その他	合計
売上が上がらない	2	8	8	7	4	29
利益が上がらない	9	9	6	7	5	36
消費・需要の停滞	1	7	8	6	4	26
仕入価格(原材料費)の上昇	4	14	6	8	1	33
販売単価、受注単価の低下	4	6	1	3	1	15
後継者不足	3	1	2	4	0	10
大型店等の進出等による競争の激化	0	0	1	0	0	1
従業員不足	7	8	3	9	2	29
従業員の技術力不足	6	9	3	4	2	24
事業資金の借入難	1	0	1	0	0	2
商品在庫の過剰	0	0	1	0	0	1
消費者ニーズの変化への対応	0	3	1	2	2	8

その他

- 昨年は天候の不順による、消費者の購買意欲がそがれたように思います。  
消費者の高齢化、一人世帯の増大がここ1.2年顕著になってきました。高齢化の波が、私どもの業種では、大きな影響を及ぼしています。これをどう解決するかがこの先の私共の課題です。(製造業)
- 運賃・送料のアップ(小売業)
- テナントからの賃料入金の遅れ(不動産業)

【質問 D】 行政に対するご意見・ご要望

- 当社のH29年度の売上は順調に伸びております、来期もみんなで協力して頑張りたいと思います。(建設業)
- 県市町村に対し、国(関東経済産業局)による「官公需適格組合」資格取得者に対して、随意契約の優先調達事業者として規則など法的根拠を策定して欲しい。(製造業)
- 市全体の人の移動など、活性化対策の推進(小売業)
- 食をメインにした観光、観光に食を入れて欲しい(飲食業)
- 高齢者介護に手厚い政策を実施していただきたい(サービス業)
- 除雪・融雪関係の充実「亀田のメイン通り、消雪パイプの工事など」(サービス業)